

# 東京モーターショー2017での 仮想AR展示の企画・制作

姫路事業所 小柳 知弘  
田原 康太郎  
和歌山事業所 向山 弘記

## 要 旨

東京モーターショーは、自動車に関する最新技術を紹介する展示会で2年おきに開催される。近年自動運転技術・電動化技術の進歩が目覚ましく、各企業の取組みについて来場者の注目度は高まっている。

三菱電機(株)は2017年東京モーターショーで、自動運転実証試験車“xAUTO<sup>(注1)</sup>”展示を行った。姫路事業所は、その展示の企画・制作を担当した。

xAUTOで紹介したい技術は車載部品、及びミリ波やカメラ視野など目に見えないものが多い。そこで大型ディスプレイを活用した仮想AR(現実拡張)を用いて見えないものを可視化し、さらに大型モニターで実車を中心

としたプレゼンテーションを展開できるような展示を企画提案し、採用された。

仮想AR展示は、リアルタイムレンダリングを使用して可動式大型モニタの位置、来場者の視点に合わせたCG(Computer Graphics)を表示し、あたかも車の透過映像が表示されているように表現することによって実現した。

また、展示会で来場者の注意を引くような映像の表示方法や、見やすく分かりやすい表示方法などを工夫し、来場者の注目を集めることができ、前回を超える来場者数となった。

(注1) xAUTOは、三菱電機(株)の登録商標である。



## 東京モーターショー2017xAUTOの仮想AR展示

xAUTOの周囲を動かせる大型モニターを利用して、あたかも車の内部が透けて見えるような映像で車載部品の機能や特長を紹介した。